

定期作況報告（最終）

（第7号 平成23年11月20日現在）
地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

《平成22年》

11月：平年に比べ最高気温は上旬が0.8℃低く、中、下旬が各々2.4℃、2.7℃高かった。最低気温は上、中、下旬とも各々0.1℃、0.2℃、0.5℃高かった。平年に比べ降水量は上旬が8.3mm多く、中、下旬は各々17.2mm、13.3mm少なかった。日照時間は上旬が12.0時間少なく、中、下旬は各々2.4時間、6.6時間多かった。

12月：平年に比べ最高気温は上、中、下旬とも各々3.6℃、1.9℃、3.1℃高かった。最低気温は上、下旬が各々3.7℃、0.9℃高く、中旬は0.2℃低かった。平年に比べ降水量は上、中、下旬とも各々10.8mm、10.2mm、20.9mm少なかった。日照時間は上旬が5.6時間少なく、中、下旬は各々8.4時間、14.4時間多かった。

《平成23年》

1月：平年に比べ最高気温は上、下旬が各々1.5℃、0.9℃低く、中旬は0.1℃高かった。最低気温は上、中、下旬とも各々0.2℃、0.7℃、1.6℃低かった。平年に比べ降水量は上、下旬が各々2.2mm、7.7mm少なく、中旬は6.2mm多かった。日照時間は上、中、下旬とも各々11.2時間、13.5時間、0.1時間少なかった。

2月：平年に比べ最高気温は上、中、下旬とも各々2.8℃、1.9℃、3.1℃高かった。最低気温は上、中旬が各々0.3℃、0.8℃低く、下旬は0.5℃高かった。平年に比べ降水量は上、中、下旬とも各々2.3mm、12.9mm、9.1mm少なかった。日照時間は上、中旬は各々5.2時間、2.1時間少なく、下旬は14.2時間多かった。

3月：平年に比べ最高気温は上、中、下旬とも各々0.7℃、0.1℃、0.4℃低かった。最低気温は上、中旬が各々0.5℃高く、下旬は2.8℃低かった。平年に比べ降水量は上、中、下旬とも各々5.7mm、10.0mm、7.0mm少なかった。日照時間は上旬が7.2時間少なく、中、下旬は各々0.2時間、34.2時間多かった。

4月：平年に比べ最高気温は上旬が1.7℃高く、中、下旬は各々1.5℃、1.0℃低かった。最低気温は上、中旬が各々1.6℃、0.3℃低く、下旬は1.4℃高かった。平年に比べ降水量は上、中、下旬とも各々2.9mm、23.8mm、21.7mm多かった。日照時間は上、中旬が各々24.0時間、5.4時間多く、下旬は23.1時間少なかった。

5月：平年に比べ最高気温は上、中、下旬とも各々4.9℃、1.9℃、0.5℃低かった。最低気温も上、中、下旬とも各々0.9℃、2.1℃、1.1℃低かった。平年に比べ降水量は上旬が13.9mm多く、中、下旬は各々1.0mm、10.5mm少なかった。日照時間は上、中旬が各々33.0時間、4.0時間少なく、下旬は13.6時間多かった。

6月：平年に比べ最高気温は上旬1.0℃高く、中、下旬は各々1.0℃、2.1℃低かった。最低気温は上、中旬が各々0.3℃、0.9℃高く、下旬は1.3℃低かった。平年に比べ降水量は上、下旬が各々4.0mm、7.5mm少なく、中旬は20.4mm多かった。日照時間は上旬が3.3時間多く、中、下旬は各々6.7時間、12.6時間少なかった。

7月：平年に比べ最高気温は上、中、下旬とも各々1.8℃、0.4℃、1.9℃高かった。最低気温は上、中旬が各々3.6℃、1.1℃高く、下旬は0.3℃低かった。平年に比べ降水量は上、中旬が各々26.9mm、21.8mm多く、下旬は44.7mm少なかった。日照時間は上、中、下旬とも各々7.7時間、10.8時間、30.6時間多かった。

8月：平年に比べ最高気温は上、中、下旬とも各々3.5℃、0.4℃、1.8℃高かった。最低気温も上、中、下旬とも各々0.9℃、0.4℃、1.1℃高かった。平年に比べ降水量は上、下旬は各々35.0mm、46.7mm少なく、中旬は64.6mm多かった。日照時間は上、下旬が各々34.3時間、15.6時間多く、中旬は1.2時間少なかった。

9月：平年に比べ最高気温は上、下旬は各々2.5℃、0.9℃高く、中旬が0.3℃低かった。最低気温は上、中、下旬とも各々2.8℃、1.9℃、0.8℃高かった。平年に比べ降水量は上、中、下旬とも各々151.2mm、46.5mm、38.4mm多かった。日照時間は上、中旬は各々14.6時間、17.5時間少なく、下旬は4.5時間多かった。

10月：平年に比べ最高気温は上旬が2.9℃低く、中、下旬は各々0.4℃、2.4℃高かった。最低気温は上、中旬が各々2.8℃、0.1℃低く、下旬は1.2℃高かった。平年に比べ降水量は上、下旬が各々20.1mm、20.6mm多く、中旬は14.8mm少なかった。日照時間は上、中旬が各々5.5時間、0.7時間少なく、下旬は1.0時間多かった。

根雪終は4月7日で平年より3日早く、積雪期間は平年より8日間短かった。耕鋤始は4月20日で平年より1日遅かった。晩霜は平年より3日早い5月12日である（表1）。

平成22年11月から平成23年10月までの気象は表2のとおりである。

表1 季節

	初霜 (前年)	降雪始 (前年)	根雪始 (前年)	根雪終 (月日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)	晩霜 (月日)	初霜 (月日)	降雪始 (月日)
本年	10月15日	10月26日	11月29日	4月7日	130	5月15日	4月20日	5月12日	10月4日	10月3日
平年	10月12日	10月26日	11月24日	4月10日	138	4月27日	4月19日	5月15日	10月12日	10月27日
比較	3	0	5	△3	△8	18	1	△3	△8	△24

注1) 本年は平22～23年の値。

2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は比布圃場の観測値。平年は過去10か年の平均値。

3) 初霜、降雪始、降雪終、晩霜は旭川地方気象台による旭川市の観測値。平年は過去10か年の平均値。

4) △印は平年に比べて早いあるいは短いを示す。

***5月発表の季節に誤りがありましたので以下のとおり訂正いたします。**

1. 初霜(前年)：本年 10月22日→10月15日、比較 10→3

2. 降雪終(月日)：本年 5月4日→5月15日、平年 4月23日→4月27日、比較 11→18

3. 晩霜(月日)：平年 5月14日→5月15日、比較 △2→△3

表2 気象表(旬別)

年 月 旬	最高気温(°C)			最低気温(°C)			平均気温(°C)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2010 上	8.4	9.2	▲0.8	1.4	1.3	0.1	4.8	4.8	0.0	48.5	40.2	8.3	8	7	1	13.1	25.1	▲12.0
11 中	6.6	4.2	2.4	-1.7	-1.9	0.2	2.2	1.0	1.2	17.0	34.2	▲17.2	5	7	▲2	21.3	18.9	2.4
下	4.9	2.2	2.7	-3.7	-4.2	0.5	0.4	-1.0	1.4	26.5	39.8	▲13.3	5	7	▲2	25.1	18.5	6.6
上	2.6	-1.0	3.6	-4.0	-7.7	3.7	-0.5	-4.1	3.6	21.5	32.3	▲10.8	5	8	▲3	12.3	17.9	▲5.6
12 中	-0.7	-2.6	1.9	-9.9	-9.7	▲0.2	-4.7	-5.7	1.0	18.0	28.2	▲10.2	6	7	▲1	21.5	13.1	8.4
下	-0.6	-3.7	3.1	-10.4	-11.3	0.9	-4.5	-7.0	2.5	6.0	26.9	▲20.9	3	8	▲5	31.2	16.8	14.4
2011 上	-5.3	-3.8	▲1.5	-12.3	-12.1	▲0.2	-7.9	-7.4	▲0.5	16.5	18.7	▲2.2	6	6	0	7.5	18.7	▲11.2
1 中	-5.3	-5.4	0.1	-14.6	-13.9	▲0.7	-9.1	-9.2	0.1	23.5	17.3	6.2	8	6	2	10.1	23.6	▲13.5
下	-4.8	-3.9	▲0.9	-14.2	-12.6	▲1.6	-8.9	-7.7	▲1.2	12.0	19.7	▲7.7	6	6	0	30.3	30.4	▲0.1
上	-0.9	-3.7	2.8	-13.4	-13.1	▲0.3	-6.2	-7.9	1.7	13.5	15.8	▲2.3	4	6	▲2	27.9	33.1	▲5.2
2 中	-1.4	-3.3	1.9	-13.7	-12.9	▲0.8	-6.4	-7.7	1.3	8.0	20.9	▲12.9	3	6	▲3	31.9	34.0	▲2.1
下	2.2	-0.9	3.1	-10.8	-11.3	0.5	-4.3	-5.6	1.3	9.5	18.6	▲9.1	3	5	▲2	47.8	33.6	14.2
上	-1.1	-0.4	▲0.7	-10.0	-10.5	0.5	-4.7	-5.0	0.3	11.0	16.7	▲5.7	6	5	1	37.5	44.7	▲7.2
3 中	2.1	2.2	▲0.1	-6.5	-7.0	0.5	-1.7	-2.0	0.3	9.5	19.5	▲10.0	3	5	▲2	37.4	37.2	0.2
下	3.7	4.1	▲0.4	-7.0	-4.2	▲2.8	-1.3	0.1	▲1.4	6.0	13.0	▲7.0	2	5	▲3	85.3	51.1	34.2
上	8.9	7.2	1.7	-4.3	-2.7	▲1.6	2.7	2.3	0.4	15.5	12.6	2.9	3	4	▲1	74.1	50.1	24.0
4 中	9.3	10.8	▲1.5	-0.5	-0.2	▲0.3	4.2	5.2	▲1.0	43.5	19.7	23.8	3	4	▲1	60.5	55.1	5.4
下	11.5	12.5	▲1.0	2.5	1.1	1.4	6.4	6.8	▲0.4	38.0	16.3	21.7	6	3	3	26.8	49.9	▲23.1
上	11.3	16.2	▲4.9	2.4	3.3	▲0.9	6.7	9.7	▲3.0	44.0	30.1	13.9	7	4	3	24.6	57.6	▲33.0
5 中	16.2	18.1	▲1.9	3.6	5.7	▲2.1	9.8	11.9	▲2.1	18.0	19.0	▲1.0	4	4	0	55.8	59.8	▲4.0
下	19.5	20.0	▲0.5	6.5	7.6	▲1.1	12.5	13.5	▲1.0	14.5	25.0	▲10.5	3	4	▲1	76.6	63.0	13.6
上	23.0	22.0	1.0	10.5	10.2	0.3	16.3	15.9	0.4	14.5	18.5	▲4.0	3	3	0	60.1	56.8	3.3
6 中	22.0	23.0	▲1.0	12.8	11.9	0.9	17.0	17.1	▲0.1	42.0	21.6	20.4	5	3	2	45.5	52.2	▲6.7
下	22.6	24.7	▲2.1	12.2	13.5	▲1.3	17.4	18.7	▲1.3	24.0	31.5	▲7.5	3	4	▲1	41.7	54.3	▲12.6
上	26.7	24.9	1.8	18.1	14.5	3.6	22.0	19.3	2.7	59.5	32.6	26.9	4	3	1	52.2	44.5	7.7
7 中	25.2	24.8	0.4	16.8	15.7	1.1	20.5	19.7	0.8	87.0	65.2	21.8	5	5	0	49.2	38.4	10.8
下	28.0	26.1	1.9	16.0	16.3	▲0.3	21.4	20.7	0.7	6.5	51.2	▲44.7	2	5	▲3	80.5	49.9	30.6
上	30.6	27.1	3.5	18.7	17.8	0.9	24.0	22.1	1.9	11.0	46.0	▲35.0	1	4	▲3	82.5	48.2	34.3
8 中	26.8	26.4	0.4	16.9	16.5	0.4	21.5	21.0	0.5	111.0	46.4	64.6	6	4	2	49.7	50.9	▲1.2
下	26.3	24.5	1.8	15.8	14.7	1.1	20.5	19.3	1.2	4.5	51.2	▲46.7	1	5	▲4	64.2	48.6	15.6
上	26.2	23.7	2.5	16.1	13.3	2.8	20.6	18.2	2.4	203.5	52.3	151.2	8	5	3	34.0	48.6	▲14.6
9 中	21.7	22.0	▲0.3	12.8	10.9	1.9	16.7	16.1	0.6	80.0	33.5	46.5	6	4	2	33.4	50.9	▲17.5
下	19.5	18.6	0.9	8.0	7.2	0.8	13.4	12.6	0.8	73.5	35.1	38.4	2	5	▲3	54.8	50.3	4.5
上	14.3	17.2	▲2.9	3.8	6.6	▲2.8	9.0	11.4	▲2.4	58.5	38.4	20.1	6	6	0	39.7	45.2	▲5.5
10 中	15.5	15.1	0.4	4.0	4.1	▲0.1	9.4	9.3	0.1	14.0	28.8	▲14.8	3	6	▲3	44.4	45.1	▲0.7
下	14.1	11.7	2.4	3.4	2.2	1.2	8.5	6.7	1.8	54.5	33.9	20.6	5	6	▲1	38.9	37.9	1.0

表3 農耕期間積算値(5月~9月)

	平均気温(°C)	降水量(mm)	日照時間(hr)
本年	2656	794	805
平年	2612	559	774
比較	44	235	31

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10か年の平均値。

3) ▲印は平年に比べて減を示す。

2. 作 況

1) 水 稲 平年並

事由：播種は平年より1日遅い4月14日に行った。出芽器使用により出芽の揃いは良好であった。育苗期間中は4月中旬が低温に、4月下旬から5月中旬は低温寡少に経過したため、苗は葉色が淡かったがほぼ平年並の生育であった。移植時の苗素質は草丈が平年に比べ1.3cm～2.1cm高く、第1葉鞘高と主稈葉数はほぼ平年並で、地上部乾物重は平年に比べ0.69g～1.07g重く、平年並からやや優った。

移植は平年より1日遅い5月20日に行った。移植後低温に経過したため、活着および初期生育はやや遅れた。6月上旬には天候が回復し生育もしだいに回復しほぼ平年並となったが、葉色はやや淡かった。

6月中・下旬の低温寡少により生育は遅れ、幼穂形成期は平年に比べ4～6日遅かったが、7月からの高温・多照により生育は回復し、止葉期はほぼ平年並で、最終止葉葉数は平年に比べ0.2～0.3枚多かった。

出穂期は平年に比べ「ほしのゆめ」、「きらら397」が2日遅く、「ななつぼし」は1日遅かった。穂揃い日数は平年に比べ「ほしのゆめ」が平年並、「きらら397」は2日長く、「ななつぼし」は1日短かった。

8月の好天により登熟は順調に進み登熟日数は平年並～4日短く、成熟期はほぼ平年並となった。稈長は平年に比べ0.8cm～2.8cm長く、穂長はほぼ平年並であった。㎡当たり穂数は平年対比「ほしのゆめ」が99%、「きらら397」が96%、「ななつぼし」は93%で平年並から少なかった。

[籾数] 一穂籾数は平年対比「ほしのゆめ」は100%、「きらら397」も103%で平年並であったが、「ななつぼし」は92%で少なかった。その結果、㎡当たり籾数（㎡当たり穂数×一穂籾数）は平年対比「ほしのゆめ」は99%、「きらら397」が100%で平年並であったが、「ななつぼし」は86%と少なかった。

[稔実歩合] 稔実歩合はいずれの品種も平年より高く、平年対比103～104%であった。㎡当稔実籾数（㎡当たり籾数×稔実歩合）は平年対比「ほしのゆめ」は101%、「きらら397」は104%とやや多く、「ななつぼし」は90%で少なかった。

[登熟歩合] 登熟歩合は平年対比「ほしのゆめ」は105%で、「きらら397」と「ななつぼし」は110%と平年より高かった。

[精玄米千粒重] 千粒重は平年対比99%～101%で平年並であった。

[精玄米重] 粒厚1.90mm以上の収量は平年対比で100%～103%と平年並からやや多収であった。

[検査等級] いずれの品種も1等で、検査等級は平年よりも良かった。

以上、㎡当たり籾数は平年並～少ないが、稔実歩合、登熟歩合が高かったことから収量は平年並～やや多収となった。したがって、本年の作況は「平年並」である。

表4 平成23年度 水稻の生育および収量

		品種・苗	成苗ほしのゆめ		成苗きらら397		成苗ななつぼし		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
生育期	播種期	(月・日)	4.14	4.13	4.14	4.13	4.14	4.13	
	移植期	(月・日)	5.20	5.19	5.20	5.19	5.20	5.19	
	幼穂形成期	(月・日)	6.27	6.23	6.30	6.24	6.26	6.22	
	止葉期	(月・日)	7.11	7.10	7.13	7.12	7.11	7.10	
	出穂期	(月・日)	7.23	7.21	7.25	7.23	7.23	7.22	
	穂揃日数	(日)	7	7	8	6	6	7	
	成熟期	(月・日)	9.06	9.04	9.09	9.11	9.08	9.09	
	登熟日数	(日)	45	45	46	50	47	49	
	生育日数	(日)	145	144	148	150	147	148	
育苗	草丈	(cm)	13.6	11.5	13.0	11.7	13.9	12.3	
	葉数	(枚)	4.0	3.8	4.2	4.2	4.1	4.1	
	茎数	(本)	2.0	1.9	1.8	1.9	1.9	1.8	
	第1葉鞘高	(cm)	2.6	2.7	2.6	2.5	2.6	2.6	
	地上部乾物重	(g/100本)	4.48	3.41	4.12	3.71	4.51	3.82	
本田生育	主稈葉数	6月10日	(枚)	6.8	6.5	7.3	7.0	7.0	6.8
		6月20日	(枚)	8.1	8.1	8.7	8.6	8.2	8.3
		6月30日	(枚)	9.1	9.2	9.7	9.9	9.3	9.5
		7月10日	(枚)	10.2	9.9	11.1	10.9	10.5	10.3
		7月20日	(枚)	10.3	10.0	11.4	11.1	10.6	10.4
		7月30日	(枚)	10.3	10.0	11.4	11.1	10.6	10.4
	m ² 当たり茎数	6月10日	(本)	378	240	364	258	301	230
		6月20日	(本)	691	561	660	608	579	521
		6月30日	(本)	873	798	869	821	718	734
		7月10日	(本)	831	824	778	832	701	735
		7月20日	(本)	779	785	711	760	656	734
		7月30日	(本)	755	757	693	730	625	683
		草丈	6月10日	(cm)	28.6	25.6	26.7	24.6	29.0
6月20日	(cm)		37.4	35.7	33.8	33.3	40.0	38.3	
6月30日	(cm)		47.7	50.4	42.8	47.3	51.6	53.2	
7月10日	(cm)		64.5	64.8	58.3	60.6	66.7	68.2	
7月20日	(cm)		83.1	78.6	75.6	73.8	84.2	83.0	
本田生育	7月30日	(cm)	90.6	83.4	84.2	80.4	91.2	87.8	
	稈長	(cm)	67.2	64.4	63.4	62.4	68.8	68.0	
	穂長	(cm)	15.9	16.2	17.0	16.9	17.2	17.1	
	穂数	(本/m ²)	726	736	663	690	615	664	
収量構成要素	有効茎歩合	(%)	83.2	89.3	76.3	82.9	85.7	90.3	
	一穂籾数	(粒)	42.5	42.7	44.5	43.3	47.8	51.8	
	m ² 当籾数	(×1000)	30.9	31.3	29.5	29.6	29.4	34.3	
	稔実歩合	(%)	95.3	92.4	96.5	92.5	96.1	92.1	
	m ² 当稔実籾数	(×1000)	29.4	29.0	28.5	27.4	28.3	31.6	
	登熟歩合	(%)	90.6	85.9	93.1	85.0	94.9	86.3	
	m ² 当登熟籾数	(×1000)	28.0	26.9	27.5	25.2	27.9	29.6	
	稔実籾登熟歩合	(%)	95.1	93.0	96.5	92.0	98.8	93.7	
	精玄米千粒重	(g)	22.2	22.4	23.4	23.1	22.5	22.2	
	籾摺歩合	(%)	80.0	79.4	81.7	80.1	82.4	81.3	
収量	屑米歩合	(%)	2.6	3.7	1.4	2.4	1.0	2.2	
	藁重	(kg/10a)	669	629	593	621	612	653	
	精籾重	(kg/10a)	745	726	767	760	771	783	
	籾藁比	(%)	111	116	129	123	126	121	
	精玄米重	(kg/10a)	596	577	627	608	635	637	
	収量比	(%)	103	100	103	100	100	100	
検査等級	(等)	1	2上	1	1下	1	2上		

注 1) 平年値は平成16～22年7力年のうち平成20年(最豊年)、平成21年(最凶年)を除いた5力年の平均。

2) 精玄米千粒重・精玄米重: 篩目1.9mm以上。水分15%に換算。

(2) 秋まき小麦 : 不良

事由：播種期は平年より6日遅い9月15日、出芽期は平年より5日遅い9月23日であった。10月20日の調査では草丈、茎数、葉数とも平年をやや下回った。根雪始は平年より5日遅く、根雪終は平年より3日早かったため、積雪期間は130日で平年より8日短かった。雪腐病の発病は少なく、越冬茎歩合は平年よりやや高かった。4月は多雨、5月は低温となったが、越冬後の生育は順調であった。出穂期は平年並で、草丈は平年よりやや長く、茎数は多く推移した。成熟期はほぼ平年並で、稈長および穂長は平年よりやや長く、穂数は平年を大きく上回った。しかしながら6月中下旬の日照が少なく、7月上中旬の夜温が高かったため子実の充実は不良となり、千粒重は平年を大きく下回った。このため、子実重は平年比92%と低収となり、検査等級は平年より劣った。

したがって、本年の作況は不良である。

表5 秋まき小麦の生育および収量

品種名		きたほなみ		
項目	年次	本年	平年	比較
播種期	(月日)	9.15	9.09	6
出芽期	(月日)	9.23	9.18	5
出穂期	(月日)	6.06	6.09	0
成熟期	(月日)	7.20	7.19	1
越冬茎歩合	(%)	114.7	109.1	5.6
雪腐病発病度		10.9	16.1	▲ 5.2
葉数(枚)	H22年10月20日	4.7	5.2	▲ 0.5
草丈 (cm)	H22年10月20日	23.2	24.6	▲ 1.4
	H23年5月20日	40.7	38.2	2.5
	H23年6月20日	98.0	93.1	4.9
茎数 (本/m ²)	H22年10月20日	1,158	1,208	▲ 50
	H23年5月20日	1,666	1,316	350
	H23年6月20日	885	714	171
成熟期	稈長 (cm)	88	85	3
	穂長 (cm)	8.9	8.5	0.4
	穂数 (本/m ²)	843	678	165
子実重	(kg/10a)	700	762	▲ 62
同上平年比	(%)	92	100	▲ 8
リトル重	(g)	797	785	12
千粒重	(g)	32.5	40.1	▲ 7.6
検査等級	(等)	2下	2上	—

注 1) 平年値は、前6か年中、22年(収穫年度)を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。

(3) 春まき小麦 : 不良

事由：根雪終は平年より3日早い4月7日であり、播種期は平年より1日早い4月22日であったが、播種後、低温寡照に経過したことから、出芽期は平年より2日遅い5月8日であった。出芽後も低温寡照に経過したことから5月20日の調査では、草丈、茎数は平年を下回っていた。5月下旬以降は平年並から高温に経過し、生育は回復したものの、出穂期は平年より2日遅かった。6月20日の調査では、草丈はほぼ平年並であり、茎数は平年を上回っていた。7月上旬中は降水量が多かったため、成熟期における稈長は平年を上回った。7月第6半旬は高温に経過したものの、成熟期は平年より3日遅かった。穂長は平年並で、穂数は平年より上回ったが、分けつ穂の生育が劣っていたことから、子実重は平年比77%と低収となった。千粒重、リットル重はほぼ平年並であった。検査等級は平年並であった。

したがって、本年の作況は不良である。

表6 春まき小麦の生育および収量

品種名		春 よ 恋		
項目	年次	本年	平年	比較
播種期	(月日)	4.22	4.23	△1
出芽期	(月日)	5.08	5.06	2
出穂期	(月日)	6.22	6.20	2
成熟期	(月日)	7.31	7.28	3
草丈 (cm)	5月20日	13.4	18.5	▲ 5.1
	6月20日	71.9	73.0	▲ 1.1
茎数 (本/m ²)	5月20日	333	574	▲ 241
	6月20日	734	655	79
成熟期	稈長 (cm)	97	88	9
	穂長 (cm)	8.7	8.5	0.2
	穂数 (本/m ²)	509	459	50
総重	(kg/10a)	1,061	1,196	▲ 135
子実重	(kg/10a)	363	470	▲ 107
同上平年比	(%)	77	100	▲ 23
リットル重	(g)	788	794	▲ 6
千粒重	(g)	39.1	39.8	▲ 0.7
検査等級	(等)	2中	2中	—

注 1) 平年値は、前7か年中、平成16年、22年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

3) リットル重は1リットル升による測定。

(4) 大豆 : やや不良

事由：播種期は平年より4日遅く、出芽期は平年より6日遅かった。初期生育は遅れ、開花期も平年より2日遅かったが、7月の高温により茎葉は急速に伸長した。7月以降主茎長は平年を上回ったが、8月14日の降雨により一部倒伏した。開花期から成熟期まで高温に経過したため、成熟期は平年より4日早い9月15日であった。成熟期における主茎長は平年よりやや長く、主茎節数は少なく、分枝数はやや多く、着莢数は少なかった。子実重は平年比96%とやや低収であった。百粒重は平年より4.9g軽く、前7か年中最も軽い年よりも軽かった。屑粒率は平年より多く、検査等級も平年より劣った。

したがって、本年の作況はやや不良である。

表7 大豆の生育および収量

品種名		ユキホマレ		
項目	年次	本年	平年	比較
播種期	(月日)	5.24	5.2	4
出芽期	(月日)	6.08	6.02	6
開花期	(月日)	7.12	7.10	2
成熟期	(月日)	9.15	9.19	△ 4
主茎長 (cm)	6月20日	11.4	13.7	▲2.3
	7月20日	63.8	60.7	3.1
	8月20日	70.6	65.4	5.2
	成熟期	72.5	65.4	7.1
主茎節数 (節)	6月20日	3.5	4.6	▲1.1
	7月20日	10.2	10.4	▲0.2
	8月20日	10.2	10.6	▲0.4
	成熟期	10.1	10.8	▲ 0.7
分枝数 (本/株)	7月20日	7.9	6.0	1.9
	8月20日	6.7	6.6	0.1
	成熟期	6.1	5.7	0.4
着莢数 (個)	8月20日	80	85	▲ 5
	成熟期	70	78	▲ 8
子実重	(kg/10a)	417	436	▲19
同上	平年比 (%)	96	100	▲ 4
百粒重	(g)	33.1	38.0	▲ 4.9
屑豆率	(%)	2.2	0.7	1.5
検査等級	(等)	3上	2上	-

注 1) 平年値は前7か年中、平成18年、22年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

(5) 小 豆 : やや不良

事 由： 播種期は5月27日で平年より2日遅く、出芽期は平年より2～3日遅れたが、出芽は概ね良好であった。出芽後の気温は平年並に経過し、6月20日の調査では、主茎長、本葉数はほぼ平年並であった。6月第6半旬以降は高温傾向に経過し、開花期はほぼ平年並となり、生育は順調であった。開花期以降は高温に経過したため成熟期は平年より4日早かった。高温と7月下旬、8月上旬の少雨により節間伸長が抑制され、成熟期における主茎長は平年を大きく下回ったが、主茎節数、分枝数はほぼ平年並であった。着莢数は平年を若干下回り、百粒重は平年を上回ったものの、子実重は「エリモショウズ」で平年比94%、「しゅまり」で同95%とやや低収であった。屑粒率は平年並からやや低かったが、検査等級は形質的に劣り、過熟であることから平年より劣った。

したがって、本年の作況はやや不良である。

表8 小豆の生育および収量

品種名		エリモショウズ			しゅまり		
項目	年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月日)	5.27	5.25	2	5.27	5.25	2
出芽期	(月日)	6.11	6.08	3	6.10	6.08	2
開花期	(月日)	7.20	7.21	△1	7.21	7.21	0
成熟期	(月日)	8.30	9.03	△4	8.30	9.03	△4
主 茎 長 (cm)	6月20日	4.5	4.9	▲0.4	5.6	6.0	▲0.4
	7月20日	38.6	30.9	7.7	39.4	31.8	7.6
	8月20日	56.1	64.5	▲8.4	57.9	71.3	▲13.4
	成熟期	56	70	▲14	60	74	▲14
本 葉 数 (枚)	6月20日	1.1	1.2	▲0.1	1.1	1.3	▲0.2
	7月20日	9.6	8.9	0.7	9.2	8.5	0.7
	8月20日	12.6	12.6	0.0	12.1	12.1	0.0
主茎節数 (節)	成熟期	14.2	13.6	0.6	13.8	13.2	0.6
分 枝 数 (本/株)	7月20日	6.4	5.5	0.9	6.5	6.1	0.4
	8月20日	5.6	5.1	0.5	6.4	5.9	0.5
	成熟期	5.2	4.8	0.4	5.6	5.6	0
着莢数(個)	成熟期	51	56	▲5	51	53	▲2
子 実 重 (kg/10a)		294	312	▲18	287	303	▲16
同上平年比 (%)		94	100	▲6	95	100	▲5
百 粒 重 (g)		12.6	11.8	0.8	12.2	11.3	0.9
屑 豆 率 (%)		1.2	1.2	0.0	0.9	1.8	▲0.9
検査等級 (等)		4上	3中	-	4下	3下	-

注 1) 平年値は前7か年中、平成16年、20年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

(6) ばれいしょ : 不良

事由:天候不順により、植付期は平年より8日遅れたため、萌芽期は6日遅かった。萌芽後の生育は順調であったが、植付けの遅れのため、茎長は平年より短く推移し、開花始は平年より3日遅かった。7、8月の上いも数、上いも平均一個重は平年を下回り、上いも収量は平年を大幅に下回ったが、でん粉価はやや高めに推移した。7月下旬から8月上旬にかけて高温、少雨に経過したため、茎葉はしおれ気味となり、黄変が進み、枯凋期は平年並の9月3日であった。収穫期における上いも数、上いも平均一個重は平年を下回り、上いも収量、中以上いも収量および規格内収量は、いずれも平年の80%以下と低収であった。でん粉価はほぼ平年並であった。

したがって、本年の作況は不良である。

表9 ばれいしょの生育および収量

品種名		男 爵 薯		
項目	年次	本年	平年	比較
植付期	(月日)	5.17	5.09	8
萌芽期	(月日)	6.03	5.28	6
開花始	(月日)	6.27	6.24	3
枯凋期	(月日)	9.03	9.03	0
茎 長 (cm)	6月20日	30.5	36.1	▲5.6
	7月20日	49.8	53.0	▲3.2
上いも数 (個/株)	7月20日	9.8	10.0	▲0.2
	8月20日	11.4	12.4	▲1.0
上いも平均 一個重 (g)	7月20日	55	74	▲19
	8月20日	78	98	▲20
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	2,380	3,308	▲928
	8月20日	3,962	5,366	▲1,404
でん粉価 (%)	7月20日	13.6	13.4	0.2
	8月20日	15.5	14.8	0.7
収 穫 期	上いも数(個/株)	11.1	13.0	▲1.9
	上いも平均一個重(g)	84	94	▲10
	上いも収量(kg/10a)	4,141	5,401	▲1,260
	中以上いも収量(kg/10a)	3,422	4,609	▲1,187
	規格内収量(kg/10a)	3,398	4,349	▲951
	でん粉価(%)	15.1	14.8	0.3
対平年比	上いも収量	77	100	▲23
	中以上いも収量	74	100	▲26
	規格内収量	78	100	▲22

注 1) 平年値は前7か年中、平成16年、20年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

3) 規格内収量は、生食用規格内(M~2L:260g)の収量である。